

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

放射線被ばくを考慮した、急性胆嚢炎に対する経乳頭的ドレナージと超音波内視鏡下ドレナージの比較

●研究の対象

2020年1月から2023年9月までに京都第二赤十字病院消化器内科で、内視鏡的ドレナージを行った急性胆嚢炎のうち、術後再建腸管症例を除いたものを対象とします。

●研究の目的

急性胆嚢炎に対する経乳頭的ドレナージ（ETGBD）とEUSガイド下ドレナージ（EUS-GBD）を、放射線被ばくの観点から比較した報告は少ないため、当科における、急性胆嚢炎に対する内視鏡的ドレナージの際の放射線被ばくの現状を把握し、ETGBDとEUS-GBDを比較するために行います。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2024年6月30日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：診療録より、手技・透視時間、撮影回数、手技成績、病歴、偶発症発生率を抽出します。
なお、利用する上記の情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 消化器内科 萬代 晃一郎

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：消化器内科 萬代 晃一郎

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）